

# カッパと水辺の物語

～龍子のトリックスターたち～

2019年

7月27日(土)～10月6日(日)

【ギャラリートーク開催日】 各日13:00～  
8月11日(日)、8月25日(日)、9月29日(日)

Ryushi Memorial Museum July 27 - October 6, 2019  
"The Story of Kappa by the Waterside" Ryushi Kawabata Exhibition

Ryushi Kawabata (1885-1966) is considered one of the great masters of modern Japanese-style painting. The Ryushi Memorial Museum was planned and designed by Ryushi himself and has a collection of more than 140 of his diverse works.

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1

ハローダイヤル 03-5777-8600



川端龍子《沼の饗宴》(部分) 1950年  
Ryushi Kawabata, Feast in the Pond, 1950



川端龍子《あやかる》1960年  
Ryushi Kawabata, *Sharing Good Luck*, 1960



川端龍子《ツイスト》1963年  
Ryushi Kawabata, *Twist Dance*, 1963



川端龍子《オリピック》1956年  
Ryushi Kawabata, *The Olympiad*, 1956

「カッパは、私の架空の愛玩動物とでも  
言いましょうか、時には自分の代弁  
者となり、時にはまた巧みな演出で  
私を楽しませてくれるのでした」  
——川端龍子

# カッパと水辺の物語

～龍子のトリックスターたち～

2019年7月27日(土)～10月6日(日)

Ryushi Memorial Museum July 27 - October 6, 2019  
“The Story of Kappa by the Waterside” Ryushi Kawabata Exhibition

日本画家・川端龍子(かわばたりゅうし 1885-1966)は、晩年、カッパをモチーフとした作品を多く描きました。龍子にとってのカッパは、子供の頃に「川へこっそり泳ぎに行こうものなら『カッパに尻子玉を抜かれるぞ』と大人たちからおどかされた記憶に始まり、日本画壇の巨匠と称えられるようになってからは、「そのユーモラスな形態を借りて、人間界の現実相を随時に表現」するモチーフとなりました。

龍子の戦後を特徴づける「カッパ・シリーズ」は、《沼の饗宴》(1950年)を皮切りに制作され始めます。本展では、徳仁天皇の御生誕を記念して描かれた《あやかる》(1960年)、日本水泳陣の目覚ましい活躍を表した《オリピック》(1956年)、当時のブームを描いた《ツイスト》(1963年)など、当館が所蔵する「カッパ・シリーズ」19点を一挙展示します。龍子が「私の架空の愛玩動物」とする作品中のカッパたちは、スポーツにうち興じ、踊り、酒を飲み、変装したりと思いのままに振る舞い、口下手な龍子の代わりに語り出します。いわば、カッパは龍子の制作活動におけるトリックスター<sup>®</sup>として捉えることができるのです。

さらに、「カッパ・シリーズ」に加え、本展では水辺にちなんだ作品を展示し、30点を超える作品から晩年の龍子の制作活動を紹介します。

※トリックスター・・・神話や民話に登場し、いたずら者として表わされる人物や動物。秩序をかき乱す一方で、物語を展開させたり、知恵を与えたりする。

## 【次回展予告】

### ■青龍社創立90年特別展「龍子と同時代の画家たち」

会期：2019年10月26日(土)～12月1日(日)

本展では、1929年に龍子によって美術団体・青龍社が創立されてから90年を迎えることを記念して、他館が所蔵する龍子の作品の他、青龍社草創期のメンバーの作品を紹介します。また、横山大観、川合玉堂と龍子の深い交流により制作された作品や、京都画壇において新しい日本画を追求した堂本印象の作品等を通して、川端龍子の生きた時代精神に迫る展示とします。



第一回青龍展・四十四歳の龍子(一九二九年)

- 開館時間 9:00～16:30 (入館は16:00まで)
- 入館料 大人200円、小中学生100円  
※65歳以上(要証明)と6歳未満は無料
- 休館 毎週月曜 (8月12日(月・祝)、9月16日(月・祝)、9月23日(月・祝)は開館し、8月13日(火)、9月17日(火)、9月24日(火)に休館)

## 龍子公園のご案内

隣接する龍子公園では、龍子設計のアトリエと旧宅を開館日にご覧いただけます。



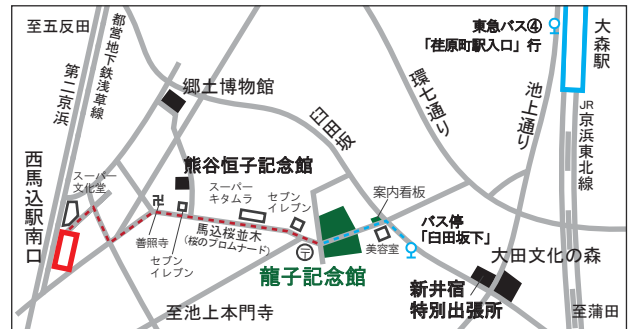
アトリエ

## ご案内時刻 (1日3回)

10:00、11:00、14:00 から解説つきでご案内します。

Ryushi Garden Guided Tour 10:00, 11:00, 14:00～

## ■当館へのアクセス



- JR京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車「白田坂下」下車、徒歩2分
- 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から南馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩15分

## Access

## Ryushi Memorial Museum

4-2-1 Chuo, Ota-ku, Tokyo 143-0024  
TEL:03-5777-8600

- From JR Keihin-Tohoku Line Omori Sta. West Exit, take Tokyo Bus No.4 towards Ebaramachi Sta. Entrance, get off at Usuda-Sakashita bus stop and walk 2min.
- 15-min. walk from Toei Asakusa Line Nishi-Magome Sta. South Exit

## Information

Opening Hours 9:00-16:30 (entrance closes at 16:00)

Admission Adults: 200yen, Minors: 100yen  
Children under 6 and seniors over 65 are free

Closing Days Mondays (When a national holiday falls on a Monday, the Museum will be open and close on the following day)

## 大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央 4-2-1

ハローダイヤル: 03-5777-8600

記念館直通: 03-3772-0680

http://www.ota-bunka.or.jp/ryushi/



えがくかなでる ひびく

公益財団法人 大田区文化振興協会